

国際会議参加のためのインド渡航ビザ取得体験記

2025年9月27日

文責：秋山進一郎

Lattice会議という物理分野の国際会議に参加するための、インド渡航ビザ取得までの体験記です。ビザ申請の手続きや必要書類は、理由や状況によって対応が異なる場合があります。最新の公式情報は、インド大使館・総領事館、そして公式オンライン申請サイトで必ずご確認ください。この体験記はあくまで参考としてお読みいただければ幸いです。

なお、ビザ申請を受け付けている大使館や総領事館は、申請者の居住地によって異なります。ご自身の管轄を確認した上で、該当する公式サイトにアクセスしてください。

目次

- (1)公式ウェブサイト
- (2)事前準備：オンライン申請
- (3)提出書類
- (4)提出・受け取り

(1)公式ウェブサイト

各サイト間で記載内容や表現に違いがありますので、それぞれに目を通すことをおすすめします。

- Lattice会議(ビザ取得に関する説明ページ):
<https://indico.global/event/14504/page/4470-visa-for-foreign-nationals>
- インド大使館(ビザ取得に関するページ):
https://www.indembassy-tokyo.gov.in/eoityo_pages/Nzk
- インド総領事館(ビザ取得に関するページ):
<https://indconosaka.gov.in/pages.php?id=156>
- 公式オンライン申請: <https://indianvisaonline.gov.in/visa/instruction.html>

(2) 事前準備: オンライン申請

まずは以下のオンラインの申請フォームから申請が必要です。

<https://indianvisaonline.gov.in/visa/index.html>

以下、注意点です。

- ビザの種類
 - 国際会議への参加が目的なので「Conference」を選んだ方が良さそうです。
 - 当初は「Business」でも可能という情報もあり、「Business」でオンライン申請を行いました。しかし、後述のとおり、大使館での書類提出時に「Business」では受け付けられないとのことで、「Conference」へ変更するよう窓口で指示を受けました。オンライン申請では「Business」を選択していたため、持参した書類もすべて「Business」が選択されていたわけですが、その場で修正してもらうことができ、最終的には「Conference」ビザとして発行されました。
 - 私が参加した国際会議の会場が、国立研究機関である TATA Institute だったため、「Conference」ビザでなければ認められないという事情があったようです。一方で、このような事情を伴わない国際会議については、「Business」ビザで許可が下りた事例も過去にあったと聞いています。
- 顔写真
 - JPEGファイルと現物の両方が必要でした。
 - 写真には細かな規定があり、特にJPEGのデータサイズが条件に合っていない場合、オンライン申請フォームにファイルをアップロードすることができません。また、この写真規定については、大使館のウェブサイトとオンライン申請サイトとで記載方法が異なっています。両方の情報に目を通しておくことをおすすめします。
 - DNPの「Ki-Re-i」という証明写真撮影の自販機を使って顔写真を準備しました。
https://www.dnpphoto.jp/products/kirei/size_type/index.html
 - DNPの「Ki-Re-i」を使う利点として、スマホアプリをダウンロードしておく、自販機で発行された現物の写真に付されたQRコードから写真データを取得できるだけでなく、アプリからインドビザ申請用のサイズを選択し、アプリが適切に加工してくれたJPEGファイルをダウンロードできます。
 - 写真サイズは大使館ウェブサイトに「2 inches x 2 inches」との規定があったので、撮影時のメニューは「免許証/中型」の5cm×5cmの写真を選びました。
 - 背景は大使館webサイトに「with white background」と規定があったので、顔写真の背景色を選択できるメニューを選び、背景を白色に設定しました。

- 顔写真はメガネなしの方が良いという情報を見かけたので、メガネなしで撮影しました。私のパスポートはメガネの写真ですが、受理されました。
- 服装ですが、白色・黒色は非推奨との情報をどこかで見たので、念のためにストライプ柄の入った空色のポロシャツにしました。写真背景が白なので、ある程度の濃さのある有彩色が良いのかもしれませんが。
- 参考にした個人ブログ・民間サイト
<https://ameblo.jp/hibitabi-blog/entry-12887150282.html>
<https://www.evindiago.jp/news/photo-requirements>
- PDF出力
 - オンライン申請フォームを全て入力し終わると、PDFでデータを出力することができます。これを印刷して提出します。
 - もし画像のずれなどで困ったときには「PDF変換の際のレイアウトのずれ - Microsoft Q&A」など検索すると助けがあるかもしれません。

(3) 提出書類

大使館に提出するために印刷した書類は、以下の3種類です。

すべて自前のプリンタで印刷して持参しました(インドから原本が郵送されてきた書類ではありません)。複数ページにわたる書類については両面印刷にしましたが、問題なく受け付けてもらえました。

1. オンライン申請フォームのPDF

2. 国際会議側から発行された書類(4点)

備忘録も兼ねて、各書類についての説明を、国際会議側からのメールに記載されていた文章をもとにまとめておきます。

- Invitation Letter
- Letter to the Consulate/Embassy

All foreign participants are required to obtain a stamped visa to attend Lattice 2025.

- Political Clearance (Ministry of External Affairs)

This document includes your name, which was extracted from the full list of participants. Since the clearance is common for all participants, we have

removed details of other delegates and retained only your entry to avoid data breaches.

(コメント)この書類には、申請者(私)の氏名が記載されていることが必須とのことです。念のため、名前が正しく記入されているか事前に確認しておくことをおすすめします。なお、申請時には領事館の担当者が私の名前の記載箇所を見落とし、危うく受付不可になりかけるという場面がありました。

- Document from Ministry of Home Affairs

Please note that you do not require MHA clearance (for you and for the event) as you are not from a country for which this is mandatory. We are attaching an official notification from the Ministry of Home Affairs (MHA) that explicitly states this exemption. You do not need clearance from the state government.

3. 日本での所属機関からの推薦状(1点)

多くの場合、所属機関で所定の様式が用意されていると思いますが、そうした様式がないケースもあるようです。その場合は、自分で文面を作成し、所属機関長のサインをもらう形になります。

(4) 提出・受け取り

提出先: インド大使館(東京都千代田区九段南2-2-11)

提出日: 2025年8月2日

受取日: 2025年9月16日(当初9月8日受取予定でしたが、後日郵送対応)

ウェブサイトには郵送での提出も可能と記載されていましたが、私は東京近辺に住んでいること、また初めてのビザ取得でパスポートなどを郵送することに不安があったため、大使館に直接書類を提出することにしました。以下、注意点です。

- 提出先

- 地域によって管轄している大使館・領事館が違うのでウェブサイト等で確認してください。

インド大使館: https://www.indembassy-tokyo.gov.in/eoityo_pages/MjA,

インド総領事館: <https://www.indconosaka.gov.in/pages.php?id=20>

- 提出時

- 予約は不要でしたが、書類の提出受付は午前中のみ(当時は9:30~11:30)でしたので注意が必要です。

- 申請料(当時は1,640円)の支払いは現金のみで、かつお釣りが出ません。そのため、あらかじめちょうどの金額を用意しておく必要があります。
 - 大使館のすぐ近くにコンビニがあり、そこで小銭を用意したり、必要に応じて書類を印刷したりすることも可能です。ただし、多くの利用者で混み合うこともありますので、時間には余裕を持って行動することをおすすめします。
 - パソコンやスマートフォンなどの電子機器は館内に持ち込むことができません。そのため、大使館入口のロッカーに預けてから入館することになります。
 - (2)でも少し触れましたが、必要書類がすべて揃っていることをきちんと説明する姿勢は大切だと感じました。窓口の担当者の方の対応が厳しく感じられる場面もあるかもしれません。そのため、落ち着いて対応する心構えも必要だと思います。
 - 受付後に引換券が渡されますので、紛失しないよう注意してください。
 - 書類提出後は、大使館近くのインドレストラン「ムンバイ」に立ち寄り、チキンティッカに癒やされました。
- 受け取り時
 - 私の場合、提出から1週間後以降に受け取りに来るよう指示を受けました。そこで、9月8日に受け取りに行きました。
 - 受け取り時間は夕方の1時間のみ(当時は16:00～17:00)でしたので注意が必要です。
 - 事前に電話で、当日受け取りが可能か確認しておく心安心かもしれません。
 - 当日、16時に大使館を訪れましたが、窓口では理由の説明がないまま「お待ちください」と言われました。結局1時間ほど待ち、受付終了時刻を過ぎてから呼ばれました。その際、「本日発行するとインド滞在中にビザの有効期限が切れてしまうため、後日改めて受け取りに来るか、ゆうパックを購入して郵送で受け取るかを選んでほしい」と説明を受けました。
 - 私は郵送を選択し、最寄りのコンビニでゆうパックを購入して窓口に提出しました。その後、9月16日にビザ付きのパスポートが無事に自宅へ届きました。
 - なお、「お待ちください」と言われた場合には、待つ理由を確認したり、帰宅時間の制約があることを伝えたりすると、対応が変わる(早まる)可能性もあるかもしれません。私の場合は時間に余裕があったため、大使館を訪れるさまざまな人々を観察しながら過ごしました。

以上が私の体験記です。ビザ申請にあたっては、研究室のメンバーや家族をはじめ、多くの方々にご助力をいただきました。この場を借りて改めて感謝申し上げます。この体験記がこれから申請される方の参考になればうれしく思います。